

ふるさと再発見

THE BEST HUNDRED SELECTIONS OF TAMANA



五名市百選

玉名市

ふるさと再発見
玉名市百選

玉名市

表紙 玉名天望館（桃田運動公園内）
市街を一望できる丘の上に立つ。明日の玉名の象徴的存在。

題字：玉名市長 松本虎之助



玉名市長 松本虎之助

玉名市百選によせて

このたび、玉名市制施行45周年の記念事業の一環として、「玉名市百選」と題した写真集を発行いたしました。これは、玉名市の史跡・景観・観光・食文化、その他色々な分野において、地元で埋もれているもの100選を発掘、再発見することにより、郷土に誇りを持った市民による活力ある地域づくりを推進すると共に、新しいふるさとの発見と子供たちに郷土愛を育むことを目的として市民の皆様からご応募をいただき、今回の運びとなったものでございます。

玉名市百選は、史実を求める資料集とは若干趣が異なっておりますが、今後の新しい玉名の“再発見”の道案内としていただければ幸いです。

最後になりましたが、本書作製に熱心にご審議いただきました選考委員会委員をはじめ、ご協力をお願いしました市民の皆様や関係各位のご尽力に対し、厚くお礼を申し上げます。

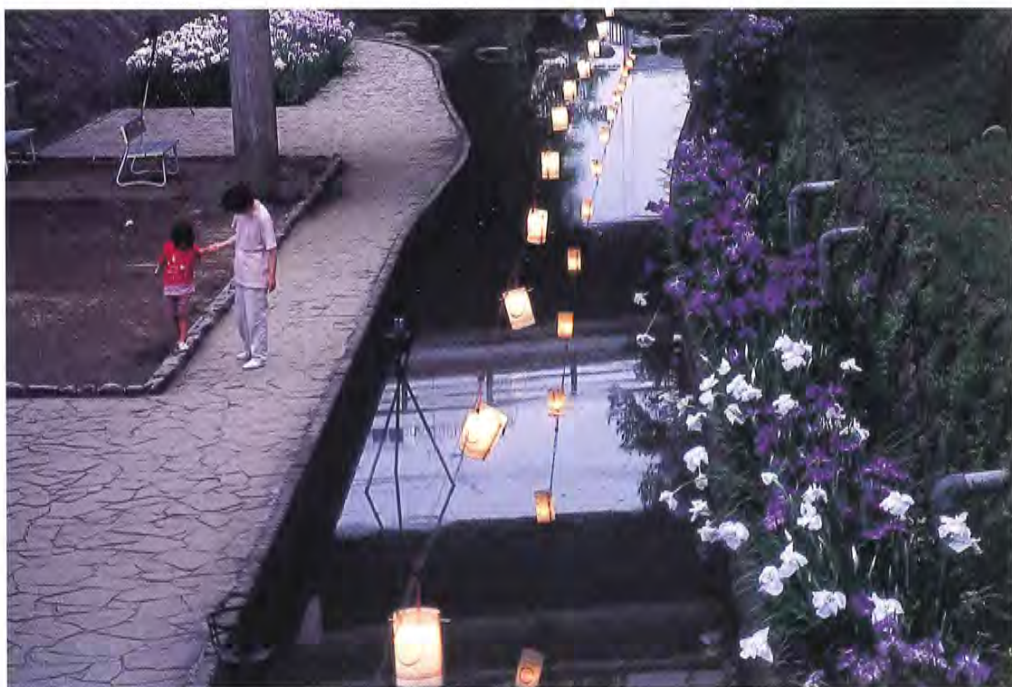


上 玉名市立歴史博物館 ころもピア

日本を代表する建築家毛綱毅曠氏の設計。基本理念は「河とともに発展した玉名」。平成6年5月22日に開館。

下 繁根木(はねぎ)神社の紅葉

四季折々に美しい玉名市、点在する神社の境内が秋に色づく。市中心部に位置する繁根木神社の鎮守の森。県内で一番古い鳥居(1652年建造)や華麗な二層造の楼門の中に紅葉が映える。



上 蛇ヶ谷公園

春は桜(4700本)にツツジ(25500本)、秋には紅葉が園内を彩る。広大な緑の中に野球場、展望台、テニスコート、ゲートボール場、アスレチックがあり老若男女問わず楽しめる。

下 高瀬裏川水際緑地公園

古くから港町、商人の町として栄えた高瀬の町。その当時の繁栄ぶりが偲ばれる商家の石垣や流れる水と様々な橋が一つの風景を形造る。13000株のしょうぶの花が咲く頃は絶景。



有明海のノリ竹

明治7年、大浜海岸にて海苔の養殖が始まった。玉名は有明海苔発祥の地。現在でも海苔は玉名市の主要産物であり、ノリ竹が連なる海の風景は有明海の風物詩になっている。



唐人船繋ぎの銀杏（県指定天然記念物）

菊池川河口にある伊倉には、かつて丹倍津の港があり海外貿易が盛んであった。多くの舟が行き来した頃、この木に唐船をつないだと伝えられる。樹齢約700年。





高瀬の町並み

高瀬は、菊池氏が勢力をふるった南北朝時代から菊池川の水運を利用した港町、商人の町として賑わった。今でも玉名の中心街で商店が立ち並ぶ通りに歴史の重みが残る。

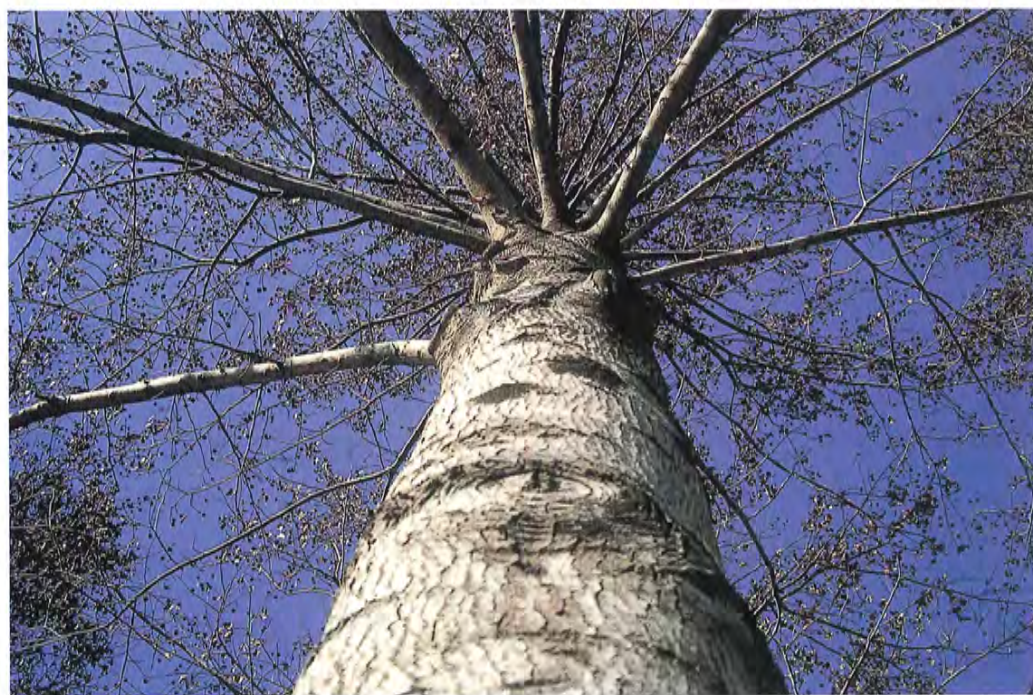


上 大浜の町並み

菊池川と海を結ぶ外港として栄えた大浜。江戸時代中頃から高瀬に集められた菊池米を大坂堂島へ運ぶ廻船が港を賑わし、町には多くの廻船問屋が軒を連ねた。

下 伊倉の町並み

加藤清正による大干拓事業が行われるまで、高瀬と並ぶ港町として栄えた伊倉。16世紀から17世紀の始め、中国や朝鮮から人々が来往した。今でも唐人町という地名が残っている。

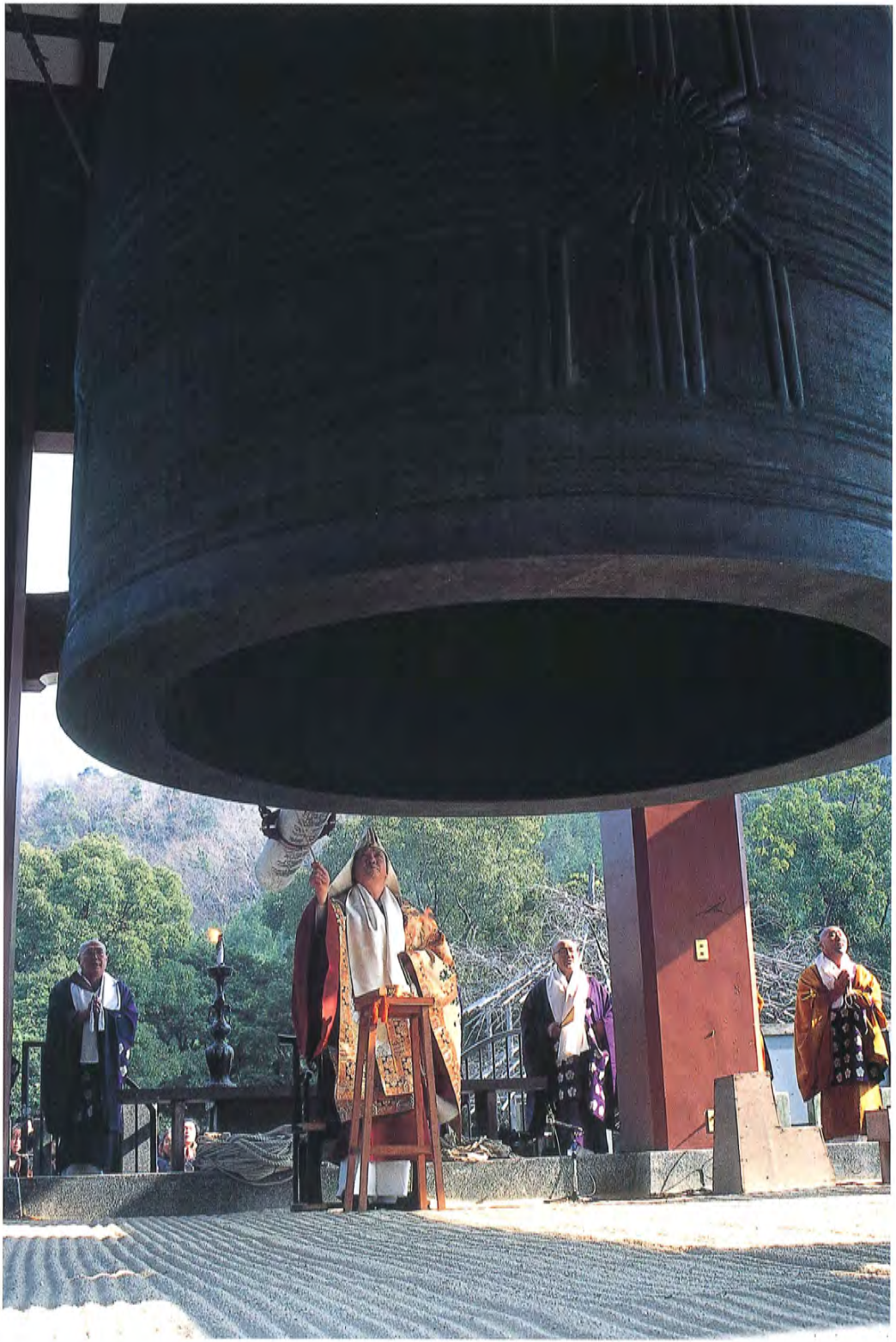


上 桃田運動公園

この公園は、50m プール、25m プール、子供プール、ウォータースライダーのある市民の憩いの場。体育館等の設備も充実しており、丘の上に立つ天望館からは玉名市を一望でき夜景も楽しめる。

下 青空にパンザイ

市民の憩いの広場にすっと立つ大カエデ。空に突き出した大枝に希望がはじける。人々の歓声をみつめて今日も……。 (蛇ヶ谷公園)



大梵鐘に祈る



永安寺西古墳





補陀落渡海碑の拓本

(左頁)

上 タタラ製鉄跡 (県指定史跡)

六反製鉄跡とも言われる。製鉄跡はたくさんあるが、ここは炉跡まで残っている貴重なもの。粘土で築いた炉に砂鉄と木炭を交互に入れ火をつけ、ふいごで風を送り焼く。その後、炉を壊して中の鉄塊を取り出した。中 山下古墳出土の舟形石棺(こころピア)

加工しやすい阿蘇溶結凝灰岩をくり抜いて造られ、遠く幾内の地にも運ばれた。玉名で最も多く出土している。

下 補陀落渡海(ふだらとかい)供養塔附石塔群 (県指定重要文化財)

玉名には日本に3つしかない補陀落渡海碑のうち2つ(伊倉の本堂山と繁根木)がある。観音信仰を表すもので、観世音の浄土とする補陀落世界に渡ろうと、泥舟で入海した僧の供養碑(永禄11年)。

(右頁)

上 永安寺西古墳 (国指定史跡)

西古墳は巨石単室の円墳で線刻した円文群に部分的に赤色が残る。

下 永安寺東古墳 (国指定史跡)

東古墳は複式石室をもつ円墳で羨門に稲妻のような連続三角文、右側壁に円、文、舟、馬が赤色で描かれている装飾古墳。



上 大坊古墳（国指定史跡）

横穴複式石室をもつ前方後円墳で、奥壁の装飾には赤、青、円文、三角文等が描かれている。金製耳飾り等が出土した。

下 石貫ナギノ横穴群（国指定史跡）

崖面200mにわたり48基の古墳時代の豪族墓が並ぶ。入口には円文や三角文が描かれ、内部には舟や弓矢の線刻がある装飾古墳。



千手観音の拓本

石貫穴観音横穴群（国指定史跡）

石貫ナギノ横穴群から5分程離れたところにあり、古墳時代後期(7世紀)の最も整った横穴である。大小5基からなり、中央の横穴奥壁には他の装飾古墳では例のない瓦葺きの軒先がつくられ、名称の起こりの千手観音が浮き彫りされている。



上 キリシタン墓（市指定文化財）

キリシタンが伊倉で亡くなった時に葬られた墓。こころピアにその遺髪が残っている。蒲鉾型をした墓碑の前面には花十字が刻印されており、16世紀末ごろの伊倉と海外との交流がうかがえる。

中 宇佐一族の墓（市指定文化財）

伊倉本堂山報恩寺跡にある7基の宇佐氏の五輪宝塔群。良港を持つ伊倉荘を宇佐八幡が直接経営。現地はかつて港があった湾内に突出した丘の上である。

下 肥後四位官郭公の墓（市指定文化財）

貿易港として栄えた伊倉には唐人町があった。明朝に仕えた四位官という位の郭公の墓で伊倉唐人町で貿易に従事した。元和5(1619)年にその子珍栄が建てた墓。



ポインセチアの栽培風景



伊倉北八幡宮



神殿屋根を支える風神(左)、雷神(右)



伊倉南八幡宮



上、中 練り嫁行列 下 節頭馬追い

伊倉南北八幡宮

道路を挟んで南北に神社が仲良く並んでいる風景が珍しい。玉名郡司日置(へき)氏の荘園を宇佐八幡宮が買得し直接経営したことに始まり、中世に行われた下地中分線を境に南方、北方に別れた。春と夏に行われる恒例の祭りの中に、節頭馬追いや練り嫁行列がある。



上 蓮華院本院 平成五重の塔 下 稚児行列
蓮華院本院は、浄土宗開祖法然の師匠・皇円上人(こうえんしょうにん)の誕生の地。鎌倉時代以後、真言律宗浄光寺として栄えたが戦国末の戦火で焼失。昭和4年、川原是信大僧正により再興され、平成9年純木造による五重塔が建立された。





蓮華院奥之院

昭和53年、蓮華院を再興した是信大僧正によって建立された。世界一の梵鐘(釣鐘)を始め見所がたくさんある。小岱山の中麓にあり玉名市が一望できる。



奥之院の四季折々の風景



正野(ひきの)神社

社地一帯は奈良時代の玉名郡衙の一角で玉名温泉伝説の主人公正野長者炭焼小五郎ゆかりの地。また「続日本後紀」や平安時代の国の法律書「延喜式」にも社名が記載された県下でも有数の由緒ある式内社。



上 大浜外嶋宮住吉神社

海の神をまつり高瀬津や伊倉津の外港として古代から江戸時代まで栄えた港町大浜の氏神。港に出入りする廻船を描いた絵馬(中左・市重要有形文化財)や大坂の住吉神社からの分霊が舟で漂着したという伝承から大型の廻船模型(中右・市重要有形文化財)が奉納されている。

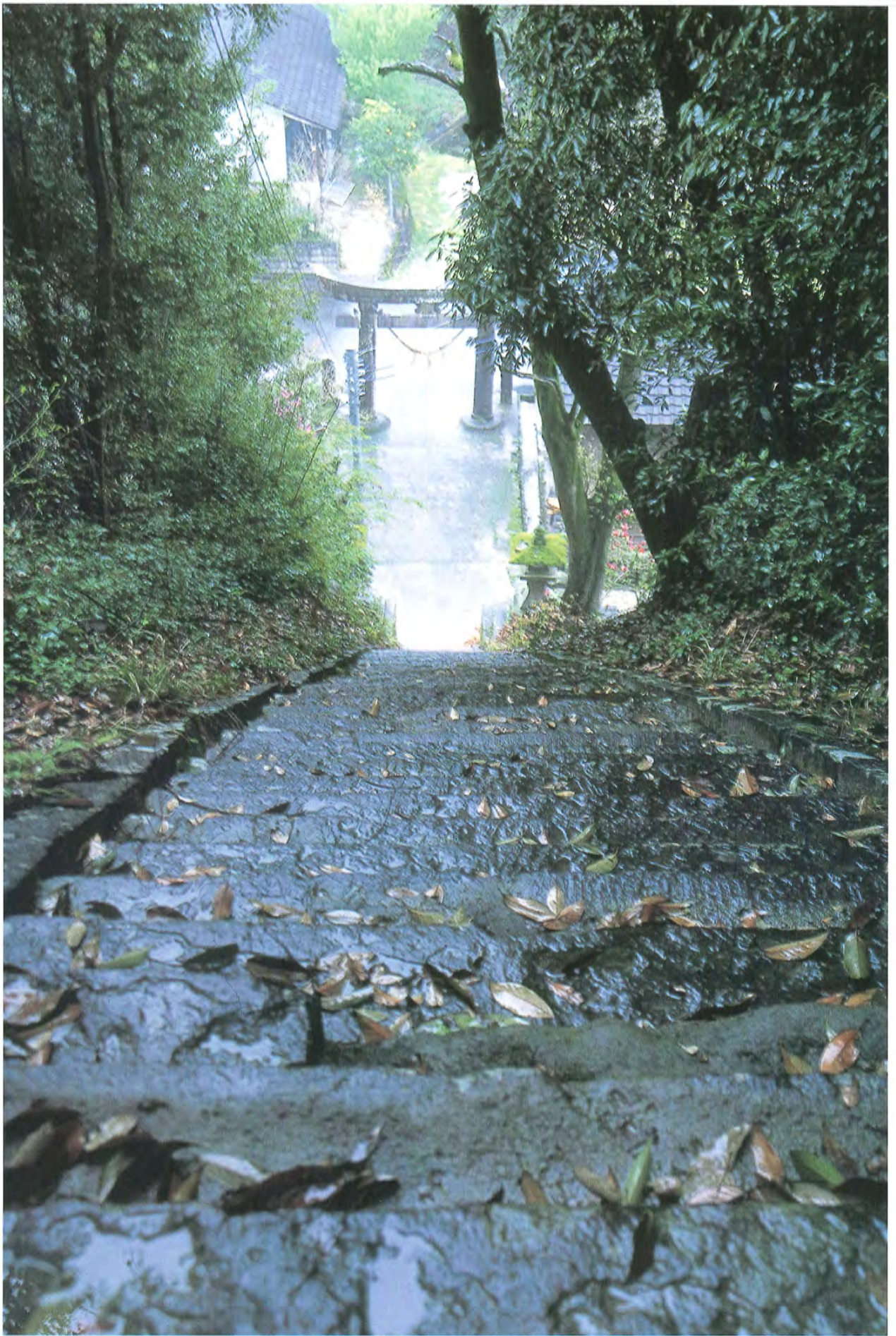
下 年紀祭 (市重要無形民俗文化財)

10年に1度行われる大浜外嶋宮住吉神社の祭礼。上げ潮にのって大漁旗などで飾られた御神輿を乗せた本船の周囲を十数隻の権伝馬船が先き駆けし、“ほうらいえんや”とはやしながら漕ぎのぼる。



大浜外嶋宮住吉神社大銀杏

三本あるうちの一本には梅檀が宿木となり10mほどの高さから枝をなして共存している。高さ20m、幹回り5m以上にも及ぶものもあり、地域の人のお話では樹齢700年とも言われている。





左頁 月田金比羅神社の石段

月田金比羅神社の石段は昔ながらの美しいもの。この神社は玉名の民話の代表的な主人公である月田の源九郎さんの氏神で話の中にもよく登場する。

右頁 箱谷熊野座神社の石段

金比羅神社と熊野座神社は近くにあり、石段のたたずまいが双子のようによく似ている。玉名の石段といえ、いつもこの二つの名前があがるくらいに趣がある。



玉名大神宮と玉依姫(たまよりひめ)

景行天皇が熊襲を討つため軍を進めた玉杵名(たまきな)の故地にまつられた宮。玉依姫をまつり、後に阿蘇12神や景行天皇、天照大神をまつる大神宮となった。辺りは菊池川の汐溜めの地。付近には大坊古墳、永安寺東西古墳、小路古墳などの史跡が点在する。



上 広福寺橋たもとの榎

下 紫陽山広福寺

正平12(1357)年、菊池武重の遺命によって弟の武澄が名僧大智禅師を迎えて建立した。道元、大智の遺品や菊池氏の寄進状が残り、数多くの古文書が国の重要文化財に指定されている。



上 繁根木八幡宮楼門 下 繁根木八幡宮大祭



六地藏

集落の守り尊として石貫、八嘉、大浜など多数残る六地藏。柱の中に六人のお地藏さんが彫られてあり、近所の人の献花が絶えない。



黒仏さん(読坂鋳造阿弥陀如来立像)

天明6年(1786)高瀬町の豪商古閑吉兵衛が先祖供養のため、京都の鋳物師に造らせた高さ2.4mの青銅の仏像(市指定重要文化財)。

左頁

繁根木八幡宮楼門

二層造の楼門は江戸時代初期に建造されたもので、高さが12mもあり桃山様式の華麗な彫刻がみものである。

繁根木八幡宮大祭

大野荘の鎮守として千年の歴史を有する繁根木八幡宮の秋祭り。節頭は雄馬3頭に装束・烏帽子をつけた幼児が乗り、仲間(ちゅうげん)を従え市内を巡回する。



あしたも、また遊ぼうね。



玉名温泉の町並み



玉名温泉

かつては立願寺温泉と呼ばれ、1300年もの間湧き続けている。無色透明、ややツルっとしたすべりのよい泉質で、リュウマチ・神経痛に効くといわれる。弱アルカリラジウム単純温泉。



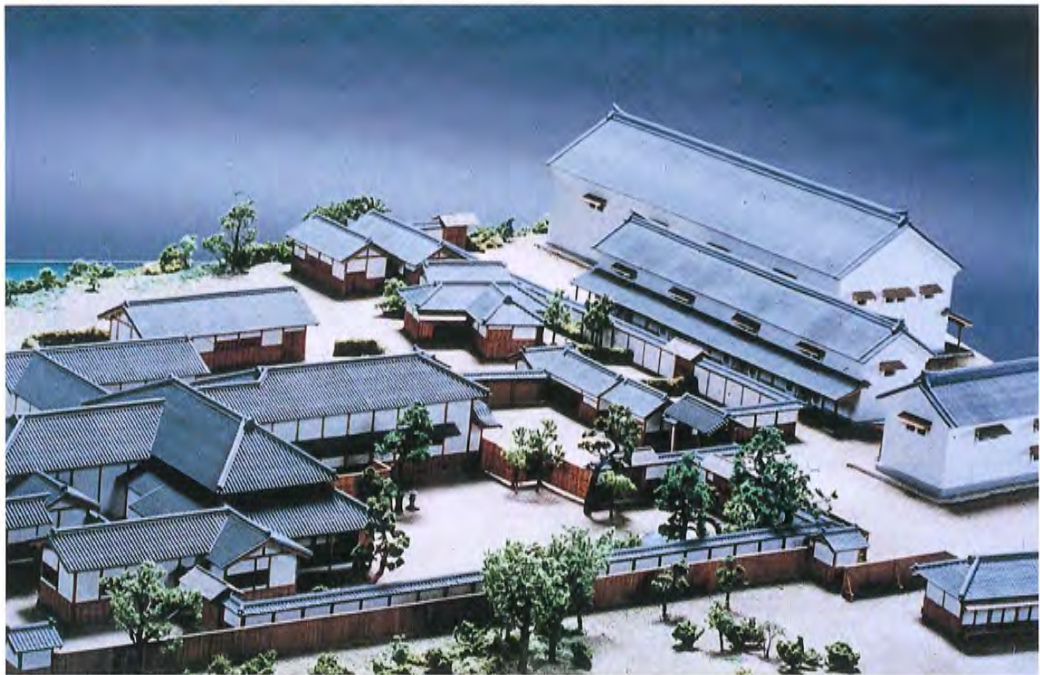
高瀬船着場跡・俵ころがし（市指定史跡）

高瀬鉄橋の際に残る昔の船着場跡。旧高瀬港が菊池米の積出港として多いに栄えた江戸時代中後期に坂の上にある藩の御倉から米俵を転がして船に積み込んだ事から「俵ころがし」と呼ばれている。



高瀬目鏡橋（県指定重要文化財）

高瀬港への荷物の積み降ろしのために掘られた裏川に架かる大きな石橋。高瀬町の玄関として嘉永元年(1848)高瀬町奉行高瀬寿平らによって築造された。



高瀬御茶屋復元模型(こころピア)

御茶屋とは藩主が巡検する際の休泊施設。高瀬藩御茶屋は特に大きく、現在では敷地の南側に井戸が残り、「御茶屋の井」と呼ばれている。この模型は平面図から復元されたもの。

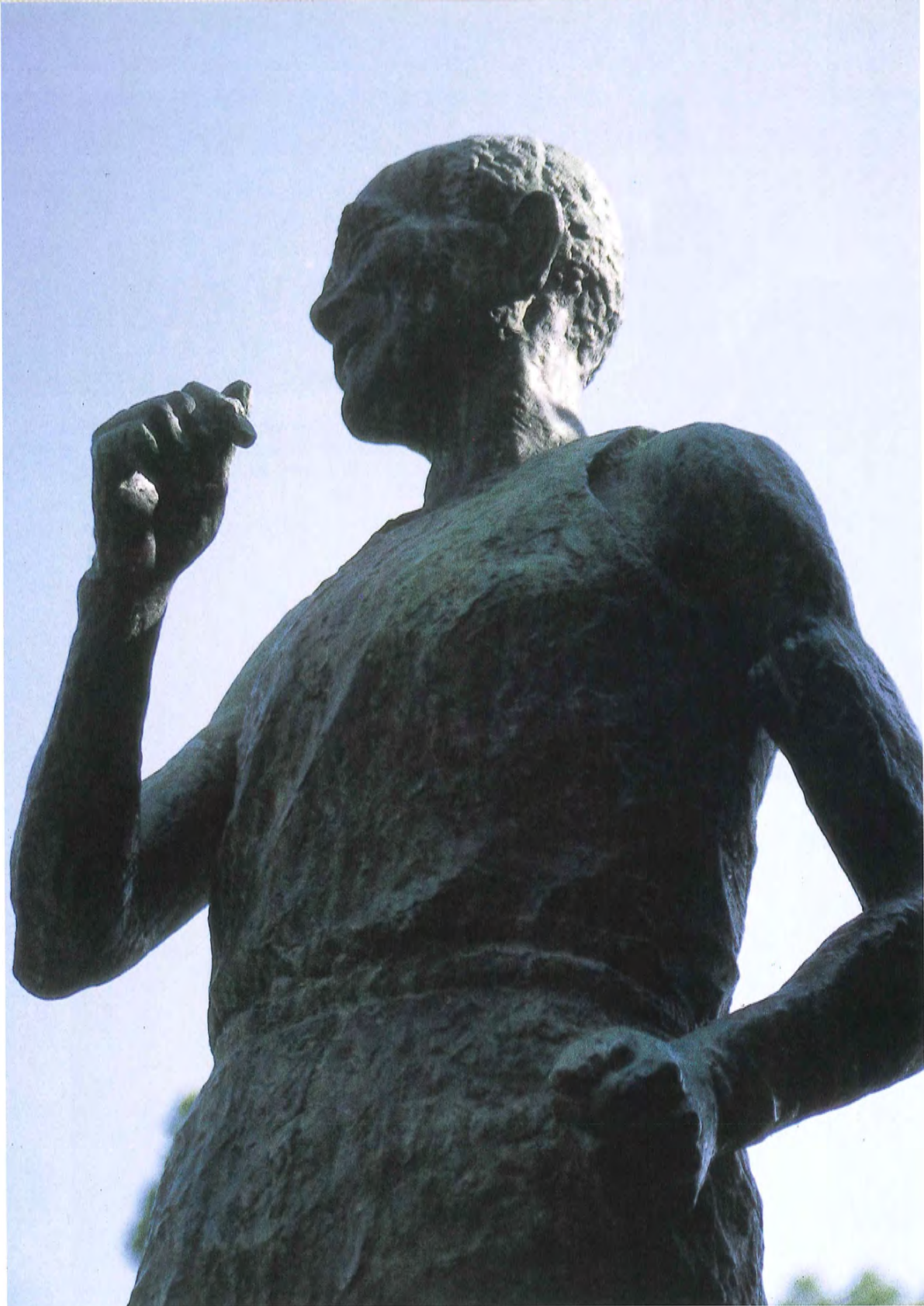


高瀬藩邸跡(現玉名町小学校)

寛文6(1666)年、細川藩の分家として細川利重を藩祖に高瀬藩ができる。昭和43年に創設百年を記念してゆかりの地に碑が建立された。武家屋敷跡周辺には、今でも当時の雰囲気が残っている。



日本で最初に陸揚げされた大砲(レプリカ・こころピア)
高瀬港(津)と海外のつながりを示すひとつで大友宗麟が発注したもの。ポルトガルから高瀬津に陸揚げされ、後の島津との戦いで活躍し「国崩し」と呼ばれた。



金栗四三先生

日本人として初めてオリンピック(第5回ストックホルム大会)のマラソンに参加。母校玉名高校前庭にその銅像がある。玉名市名誉市民。



僧豪潮建立宝篋印塔（市指定文化財）

「肥後の三筆」の一人といわれ、寿福寺の住職であった豪潮は全国に八万四千の宝篋印塔建立を誓願。巨大華麗な石塔であり豪潮型宝篋印塔と呼ばれる。



浄光寺の関白塔

浄光寺は鎌倉時代から戦国末まで栄えた真言律宗の寺跡で、そこに無銘の九州一巨大な五輪塔が残っている。『扶桑略記』の著者皇円の誕生の地に先祖関白藤原道兼の菩提を弔らうために建立したと伝えられている。



青木磨崖梵字群（県指定史跡）

熊野座神社境内の岩肌に高さ10m、長さ60mにわたり大小20の梵字が刻みつけられ仏を表現している。鎌倉時代の作と伝えられる。



大釈迦座像

小岱山南中腹にあり、ふもとの弘泉寺の住職が世界平和を祈って、
 仏師と家族の協力により完成させた。高さ38.5 mにも及ぶ巨像。



同田貫鍛冶場跡

菊池氏が京都粟田口から招いた刀工が戦国時代末に玉名の
 亀甲村に移って作刀した。九州同田貫上野介(市指定文
 化財)は「折れず曲がらず同田貫」といわれた肥後の名刀。



上 凱旋門

明治27年の日清戦争、明治37年の日露戦争の勝利を祝って明治39年1月に建立されたもの。

下 宝成就寺跡古塔碑群 (市指定文化財)

商店街の一角に南北朝時代から江戸時代までの石造物が整然と並んでいる。高瀬津の中核として延喜4(904)年真言宗大覚末寺として建立。明治10年、西南の役の戦火により焼失し石碑のみが残る。

上 玉名郡倉跡 (市指定文化財)

奈良時代、玉名郡の役所があった立願寺村に税物としての米を蓄えた倉庫群が8棟以上あったという。現在、礎石の一部が元の位置に残る。

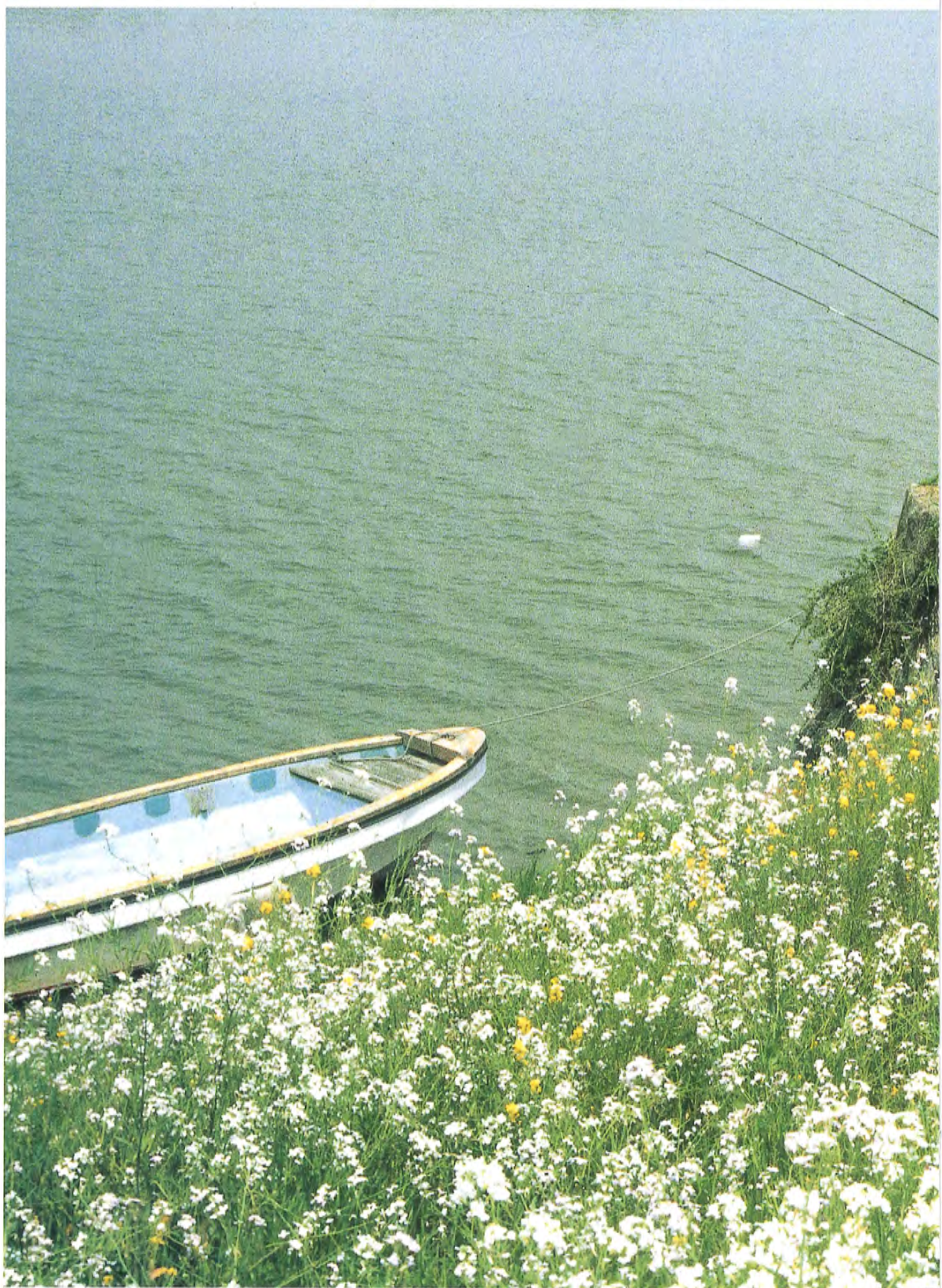
下 柳町遺跡出土の木製短甲(レプリカ・こころピア)

1号短甲は全国初の後胴と頸肩部が一体となったもので、この棒状留具には“田”の字が書かれていた。2号短甲は前胴左側部分である。



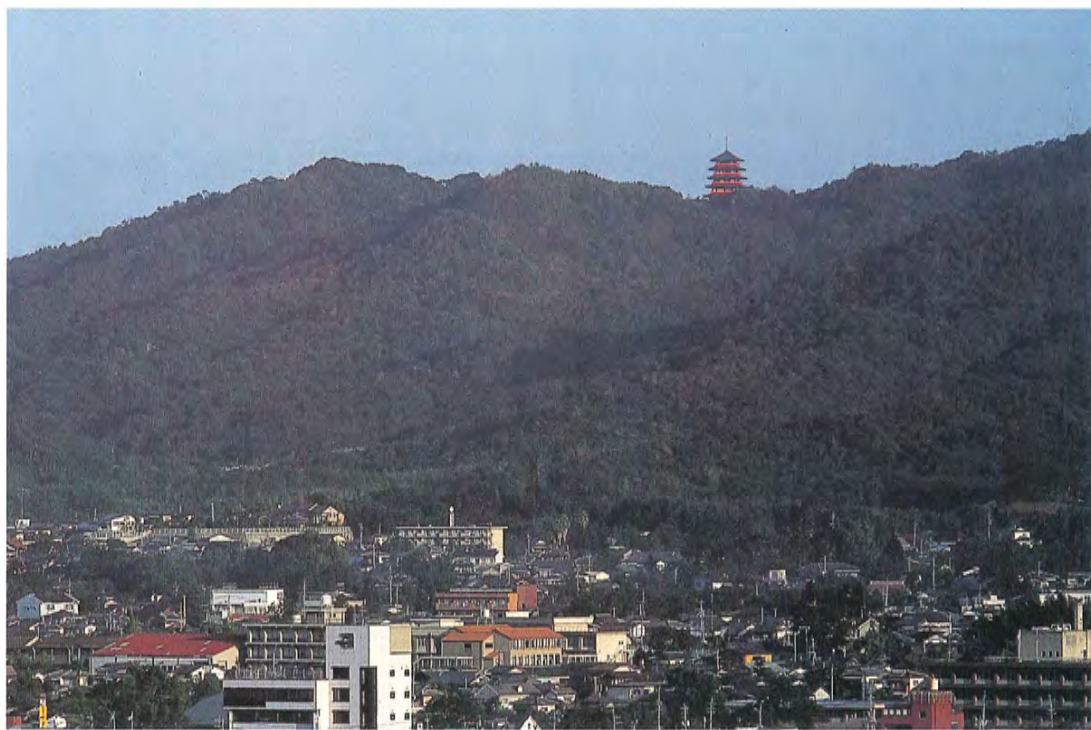
玉名には数多くの文学碑が建っている。

上 後藤是山の句碑(旧大浜番所跡) 下左 芭蕉の句碑(高瀬) 下右 山頭火の句碑(玉名温泉)





春の菊池川



上 有明海から小岱山を望む 下 天望館から見た小岱山と玉名市街



小岱山から見た玉名の景色



菊池川に架かる橋 上 玉名橋 中 高瀬大橋 下 高瀬鉄橋



上 小島橋 中 大浜橋 下 新大浜橋



繁根木川

菊池川の支流であり、玉名市を縦走するように流れる繁根木川。上中流では四季を通じて自然豊かな風景が楽しめる。



ぞうめきの滝

玉名唯一の滝。仁王の滝、天狗滝とも呼ばれ、ぞうめきとは「ざわめき」を転じたものと言われている。



上 石ハネ、うろこのはな(整流堤)、菊池川最下流の景観

土木の神様と言われた加藤清正が造ったと伝わっている石積みの防波堤。洪水時に水の勢いを和らげるためのもので、名残が大浜橋の下手付近にあり清正公(せいしょうこう)枠と呼ばれている。

下 菊池川右岸のハゼ並木

ハゼは江戸時代から土手固めとロウソクの材料として県下各地の河川堤防に植栽された。しかし河川改修により多くは伐採され、当時の状態を残すハゼ並木は240本ほどである。



白石堰

菊池川下流にある県下でも最大級の堰。ここで堰止められた水が玉名平野を潤し、遠くは福岡県大牟田市の工業用水にも利用されている。



上 六枚戸樋門 下 干拓堤防

明治20年代につくられた堤防と樋門。今では干拓され、この先には田圃が広がっている。凝灰岩でつくられた堤防は当時のままで近代遺産としての価値が評価されている。



山田の藤（県指定天然記念物）

毎年4月中旬から5月上旬にかけて開花する。樹齢約200年と推定。長さ1m以上の花房が風にそよぎ芳香を漂わせる。夜間は照明の下で違った趣を楽しめる。



上 総合庁舎前の榎

玉名教育発祥の地のシンボル。岩崎村(現 県玉名総合庁舎)の高等小学校、その後の高瀬高等女学校、玉名実業学校、工業学校、戦後の玉名中学校跡地で記念樹的な榎である。

下 北稜高校の大蘇鉄

旧高瀬高女移転に際し大浜から移植し、それ以来ずっと玄関を飾っている。雄雌合体株であり、樹齢は150～200年と言われている。



菊池川の精霊流し



祭りの一景



上 築山花棒踊り（市指定重要無形文化財）

江戸時代には棒術であったが百姓にはご法度のため、棒の両端に色紙の花房をつけ音頭唄に合わせて踊るようにした。風流踊り(ふりゅうおどり)の一つである。

下 玉名の神楽

玉名には多くの神社で今でも神楽が伝承されている。その伝統が廃れてしまった地区でも、最近その価値を再認識した若者を中心にその華麗な舞が復活した。



大浜外嶋宮住吉神社年紀祭から



上 しょうぶ祭り 下 大俵祭り



玉名まつり・菊池川の花火

玉名の新しい祭りには、しょうぶ祭り(6月)、玉名まつり(8月)、大俵祭り(9月)があり、大俵祭りでは大坂へ肥後米を積み出した高瀬を偲びつつ、玉名の未来への希望を込めた巨大な俵を転がしレースを展開する。



上 梅林菅原神社の流鏝馬(やぶさめ)

毎年11月25日、安楽寺領玉名荘の鎮守梅林菅原神社の大祭で武士の衣裳をまとった騎手が馬にまたがり駆けながら9本の矢を射る神事。節頭区によって乗り手の衣裳が異なる。矢を拾うと縁起が良いとされる(市指定重要無形民族文化財)。

下 築地四十九池神社奉納楽

阿蘇四之宮を祭るこの神社では10月15日の例祭の際、神事として氏子による火術(花火)と楽を奉納する。その楽は元禄五(1692)年頃より始まり、謡、笛、太鼓、三味線で演じられる。



上 滑石諏訪神社のしし食い祭り

毎年1月17日に行われる。祭神健甕名方大神(たけみなかたのみこと)が農作物を食い荒らすイノシシを草刈り鎌で退治し、その肉を農民に分け与えたという故事に由来している。

にべ

下 奈良時代から平安時代にかけて「肥後国風土記」の故事にちなみ、朝廷の正月の新年宴会の前の儀式には暦と氷と腹赤の贄(にべ)の3つの品物が献上されていた。にべはスズキに良く似た魚で玉名でとれたものが献上されていたという。





九州看護福祉大学

地域と共に成長する大学、生涯にわたって学べる大学、近隣諸国と学ぶ大学の人を軸とした三つの基本理念を持つ玉名の新しい顔。平成10年に開学。



上 ハーブの里

世界のハーブガーデン、レストラン、工芸教室などがある。小岱山の豊かな自然の中でハーブを楽しみりフレッシュできる玉名新観光名所。

中 熊本県立玉名高等学校

県下の公立高校としては唯一残る昭和12年落成の鉄筋コンクリート校舎。近藤良馬技師による当時の卓抜としたデザインとステンドグラスが有名。

下 玉名市立図書館

ビデオテープやカセットテープの貸し借りもできるようになっていて、子供から大人まで楽しめる図書館で貸出数日本一を誇った時もあった。

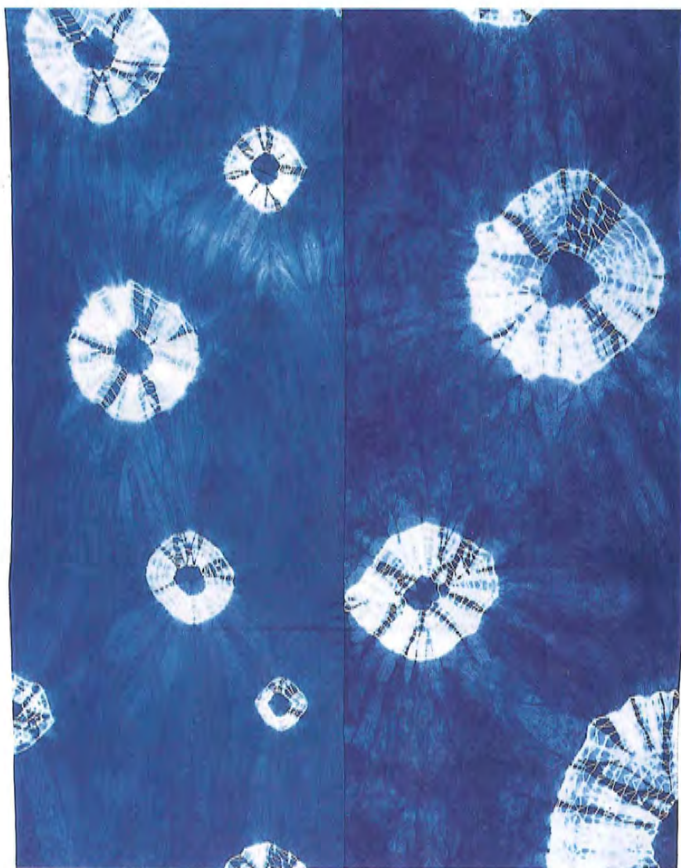


上 玉名市民合唱団

昭和26年に創立され、今年で48年を迎える。会員数は50名。玉名市の歴史と共に歩み続ける市民の合唱団として、県内だけではなく海外からも注目されている。

下 玉名女子高等学校吹奏楽部

世界的に名の知れた吹奏楽部。器楽コンクールで度々金賞を受賞。アメリカ、グレンミラー生誕の地で演奏するなど広く活躍している。



高瀬しぼり木綿

日本のしぼり木綿の源。豊後紋りを経て尾張の有松・鳴海に伝わり元禄頃から発展した。当時の現物は発見されていないが、復元されている。



しょうぶ祭り 野点



とっばい汁



いきなりだご



煮しめ



まぜめし



あさりのひこずり・人もじのぐるぐる



人參饅頭

玉名の山の幸・海の幸

農作業や座祭りなど、人が多く集まる時のごちそうとして身近な材料を使った料理が今でもつくられている。

とっばい汁

「とっばい」とは豆腐の事。豆腐、人參、ごぼう、鶏肉など具だくさんのしょうゆ汁である。

いきなりだご

からいもの輪切りを小麦粉でつくった皮にくるみ、蒸しただけの素朴なだんご。近年は餡も一緒に包み込んでつくる。だんごと言わずに「だご」と言うのが地元らしい。

まぜめし

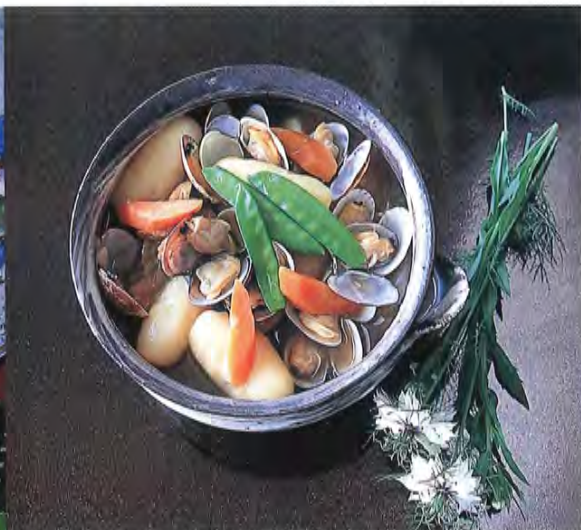
自家製の旬の野菜や近くでとれた山菜を彩りよく使い、その家ならではの味付けをする。地鶏を使うとうまみがでて更に美味しい。炊きたてのご飯に、たっぷりの具を混ぜ盛りつける。

煮しめ

里芋、れんこん、椎茸、こんにゃく、ごぼう、人參、焼き豆腐、油あげ、いんげん豆、昆布など1品ずつ丁寧に煮て彩りよく盛りつける。

あさりのひこずり

旬のあさに季節の野菜をたっぷり加え、みそ味で煮込んだもの。玉名の海岸地域でよくつくる総菜である。



あさり入り団子汁



上 つなしの丸寿司 下 しゃく料理



ボラのたて飯

ひともじのぐるぐる(左頁 左下)

春、青々と伸びたひともじを茹でて俵型に巻いたものに、酢味噌をかけていただく。

人参まんじゅう(左頁 右下)

小麦粉とすり下ろした人参で皮を作った色鮮やかな饅頭。人参の産地、河崎地区でよくつくられる。

つなしの丸寿司

このしろ(こはだ)の小さいものを「つなし」と呼ぶ。背開きしたつなしを酢でしめ、味付けしたおからを詰めて元の形にする。祭りには必ずこの丸寿司がつけられている。

あさり入り団子汁

玉名弁でキャアだご汁という。キャアとは貝の事。あさりがたっぷり入った独特のうまみを持つしょうゆ仕立てのだご汁。

しゃくの料理

遠浅の有明海に生息するしゃくは、5月から7月が旬にあたり、茹でたり、天ぷら、煮付け、しゃくみそなど幅広い料理に利用される。

ボラのたて飯

川と海の境界に生息するボラは、玉名の海岸で多くとれる魚の一つ。釣ったばかりのボラを丸ごと米に入れて炊き込む豪快な海の幸。



名物創作だんご



大鐘餅



松の雪



玉杵名菓集



長者饅頭



高瀬飴

名物創作だんご

最高級素材を使用した防腐剤を一切使わないこだわりある創作団子。和洋取り混ぜた独自創性が人気。

松の雪

ポルトガルの宣教師アルメイダが伊倉の菓子職人に伝授したと伝わる。カステラ生地の上の砂糖がけが松に雪が積もっているように見える。

長者饅頭

正野長者伝説を偲び、人々の長寿と弥栄の願いをこめた銘菓。卵の黄身をつかった餡は、とろけるようでコーヒーとの相性も良い。

飛龍 大鐘餅

奥之院にある世界一の吊鐘にちなんだ大鐘餅。抹茶とあずき2色の餡をふんだんにつかい、福をよぶ餅として人気がある。

玉杵名菓集

玉名はその昔、玉杵名(たまきな)と呼ばれていた。その時代に思いを馳せ、民話や風物にちなんだ六種類の創作和菓子の味が楽しめる。

高瀬飴

江戸時代からつくられている米でつくった素朴な味わいの飴。滋養があり、お乳がよく出るようにと昔から産婦のお見舞いに使われてきた。



手作りハム



椿油



からし蓮根



有明のり



高瀬の酢



玉名のラーメン

手作りハム

直営農場の厳選された素材を使い、伝統的なドイツの製法と様々なスパイスでじっくり造られる。

からし蓮根

かつては殿様の味だったが今ではすっかり庶民の味となり、熊本の土産品の代表的ものになった。

高瀬の酢

明治時代後期から四代続いている高瀬の老舗でつくられる醸造酢。製法は初代から変わらず、その味に慣れ親しんだファンが多い。

椿油・菜種油

純椿油は自生林より採取した天然の椿実より搾油し、菜種油は昔ながらの製法でつくった無添加食用油。

有明のり

玉名を代表する産物であり全国的に有名な海苔。ビタミン、ミネラルを多く含んだ有明海で生まれ、玉名は有明海苔の発祥の地である。

玉名のラーメン

熊本ラーメン発祥地。スープはとんこつベースでコクがあり子供から大人まで男女問わず人気が高い。



玉名の農業のシンボル カントリーエレベーターと中央集荷センター



一寸そら豆と生産者



玉名のみかん(主な品種：興津)



玉名のいちご(主な品種：とよのか)



玉名のメロン(主な品種：ホームラン、アールス)



玉名のトマト(主な品種：桃太郎)と最新の設備を持つ中央集荷センター内部

玉名市百選

1. 疋野神社（立願寺）
2. 黒仏さん・読坂鑄造阿弥陀如来立像（市役所裏）
3. 柳町遺跡出土の木製短甲（レプリカ・こころピア）
4. 補陀落渡海碑（繁根本稻荷神社・市役所裏）
5. 同田貫鍛冶場跡（亀甲）
6. 山下古墳出土の舟形石棺（こころピア）
7. 凱旋門（月田）
8. 高瀬船着場跡・俵ころがし（永徳寺）
9. 玉名郡倉跡（立願寺）
10. 宝成就寺跡古塔碑群（高瀬）
11. 高瀬目鏡橋（高瀬）
12. 大坊古墳・永安寺東西古墳（玉名）
13. キリシタン墓碑（伊倉）
14. 蓮華院本院（築地）
15. 蓮華院奥之院（築地）
16. 干拓の堤防と樋門（大浜）
17. 宇佐一族の墓（伊倉）
18. 石貫ナギノ・石貫六観音横穴群（石貫）
19. 伊倉南北八幡宮（伊倉）
20. 紫陽山広福寺（石貫）
21. 青木の梵字（青木熊野座神社）
22. 六地藏（大倉、小島、下迫間など）
23. 大釈迦座像（山田、小岱山麓）
24. 肥後四位官郭公の墓（伊倉）
25. 高瀬お茶屋跡（復元模型・こころピア）
26. 有明のりの発祥地（大浜）
27. 日本で最初に陸上げされた大砲（こころピア）
28. タタラ製鉄の跡（三ツ川の六反田製鉄跡）
29. マラソン王金栗四三先生（熊本県立玉名高校）
30. 高瀬の町並み
31. 伊倉の町並み
32. 大浜の町並み（廻船問屋街）
33. 外嶋宮住吉神社（大浜）
34. 玉名の文学碑（芭蕉・後藤是山・山頭火）
35. 月田金比羅神社・箱谷熊野座神社の石段（月田）
36. 浄光寺の閻白塔（築地）
37. 高瀬藩邸の跡（現玉名町小学校）
38. 豪潮宝篋印塔（繁根本・旧法務局玉名支局北側）
39. 山田の藤（山田）
40. 唐人船繋ぎの銀杏（伊倉）
41. 外嶋宮住吉神社大銀杏（大浜）
42. 総合庁舎前の榎（岩崎）
43. 北稜高校（旧玉名農高）の大蘇鉄（立願寺）
44. 菊池川右岸のはぜ並木（六田）
45. 築山花棒踊り（築地）
46. 繁根本八幡宮大祭
47. 玉名のまつり（花火・大俵まつり・しょうぶ祭り）
48. 梅林菅原神社の流鏝馬（梅林）
49. 築地四十九池神社奉納楽（築地）
50. 滑石諏訪神社のシシ食い祭り（滑石）
51. 玉名の神楽
52. 玉名大神宮（玉名）
53. 大浜外嶋宮住吉神社年忌祭（大浜）
54. 名物創作だんご
55. 松の雪
56. 大鐘餅
57. 高瀬鮎
58. 長者饅頭
59. 玉杵名菓集
60. 椿油
61. ハーブ
62. からし蓮根
63. 手作りハム
64. 有明のり
65. みかん
66. 苺
67. トマト
68. メロン
69. 一寸そら豆
70. 高瀬の米酢
71. 玉名のラーメン
72. ポラのたて飯
73. つなしの丸寿司
74. にべ
75. 玉名の海の幸
76. 玉名の山の幸
77. 高瀬しぼり木綿
78. 廻船模型（大浜外嶋宮住吉神社・こころピア）
79. ぞうめきの滝（石貫）
80. 小岱山から見た玉名の景色
81. 白石堰
82. 菊池川の風景
83. 高瀬裏川水際緑地公園
84. 繁根本川
85. 蛇ヶ谷公園（立願寺）
86. 桃田運動公園（桃田）
87. 小岱山
88. 繁根本八幡宮・楼門（繁根本）
89. 玉名天望館（桃田）
90. 菊池川に架かる六つの橋
91. 玉名高校本館（中）
92. 玉名市民図書館（繁根本）
93. 玉名市立歴史博物館こころピア（岩崎）
94. カントリーエレベーター、中央集荷センター（北牟田）
95. うろこのはな、水はね（大浜橋～新大浜橋）
96. 玉名温泉（立願寺）
97. 玉名女子高校吹奏楽部（岩崎）
98. 玉名市民合唱団
99. 九州看護福祉大学（富尾）
100. あなたの一票



高瀬裏川水際緑地公園

「再発見!! 玉名市百選」推進委員会

学識経験者 上村重次
 玉名物産振興協会会長 野田正孝
 熊本県有明保健所長 児玉修
 熊本県玉名農業改良普及員 西田和子
 玉名市議会経済委員長 高崎哲哉
 玉名市立歴史博物館こころピア館長 田邊哲夫
 日本緑化専門学校校長 黒田輝雄
 玉名市区長会協議会会長 吉津正利
 玉名市老人クラブ連合会会長 徳永介六
 玉名市地域婦人会連絡協議会会長 高岡歌子
 玉杵名フォトサークル会長 前原猪一
 熊本県建築士会玉名支部 森川福雄
 玉名農業共同組合長 城戸剛
 玉名市校長会代表 田代憲之
 玉名市助役 杉原直之

監 修 上村重次、田邊哲夫、前原猪一
 写真撮影 上原晴夫、上原直子

協力者

- ・ 栄養士会 有明支部
- ・ 玉名市生活改善グループ
- 田浦美奈子 谷口早苗 北本ケイ子
- 藤井ツルノ 鹿本幸子 西村アツ子
- 生森みち子 荒木百恵 高永利枝 高田夏子
- ・ 高瀬しぼり木綿 下川富士子
- ・ 玉名市立歴史博物館こころピア
- ・ 玉名市民合唱団
- ・ 築地花火楽保存会
- ・ 木村写真館
- ・ 深谷 武
- ・ 荒木からし蓮根店 0968-72-2827
- ・ ハム工房たしろ 0968-72-5586
- ・ 野田鮎老舗 0968-72-3042
- ・ 田尻鮎製造本舗 0968-73-4462
- ・ 荒木直平商店 0968-72-2003
- ・ お菓子の霜上 0968-74-4848
- ・ 郷土菓心むらた 0968-74-1533
- ・ 菊水堂 0968-73-2223
- ・ 平見松月堂 0968-72-3455
- ・ 前田製菓 0968-72-3406
- ・ 安田製菓店 0968-72-3763
- ・ あいあい庵 0968-72-2966
- ・ 東製油所 0968-72-3446
- ・ ハーブの里 フラワーファーム 0968-73-2349

目 次

玉名天望館 1	大釈迦座像、同田貫鍛冶場跡、同田貫刀 . . . 41
こころピア、繁根木神社の紅葉 4	凱旋門、宝成就寺跡古塔碑群
蛇ヶ谷公園、高瀬裏川水際緑地公園 5	玉名郡倉跡、柳町遺跡出土の木製短甲 42
有明海のノリ竹 6	玉名の文学碑（芭蕉、後藤是山、山頭火） . . . 43
唐人船繋ぎの銀杏 7	春の菊池川べり 44.45
高瀬の町並み 8.9	有明海から小岱山を望む
大浜の町並み、伊倉の町並み 10	天望館から見た玉名市街と小岱山 46
桃田運動公園、蛇ヶ谷公園の大カエデ 11	小岱山から見た玉名の景色 47
大梵鐘に祈る 12	菊池川に架かる橋
永安寺西古墳 13	玉名橋、高瀬大橋、高瀬鉄橋 48
六反（タタラ）製鉄跡、山下古墳の舟形石棺	小島橋、大浜橋、新大浜橋 49
補陀落渡海供養塔附石塔群碑 14	繁根木川、ぞうめきの滝 50
永安寺東西古墳、補陀落渡海碑拓本 15	うるこのはな、水ハネ、菊池川最下流の景観
大坊古墳、石貫ナギノ横穴群 16	菊池川右岸のハゼ並木 51
石貫穴観音横穴群 17	白石堰 52
キリシタン墓碑、宇佐一族の墓	六板戸樋門、千拓の堤防 53
肥後四位官郭公の墓 18	山田の藤 54
ポインセチア栽培風景 19	総合庁舎前の榎、北稜高校の大蘇鉄 55
伊倉北八幡宮、風神、雷神 20	菊池川の精霊流し 56
伊倉南八幡宮、練り嫁行列、節頭馬追い . . . 21	祭りの一景 57
蓮華院本院（平成五重塔）、稚児行列 22	築山花棒踊り、玉名の神楽 58
蓮華院奥之院 23.24	大浜外嶋宮住吉神社年記祭から 59
疋野神社 25	しょうぶ祭り、大俵まつり 60
外嶋宮住吉神社、廻船模型、絵馬、年紀祭 . . 26	菊池川の花火 61
外嶋宮住吉神社大銀杏 27	梅林天満宮の流鏝馬、四十九池神社奉納楽 . . 62
月田金比羅神社、箱谷熊野座神社の石段 . . 28.29	しし食い祭り、にべ 63
玉名大神宮、玉依姫 30	九州看護福祉大学 64.65
広福寺橋たもとの榎、紫陽山広福寺 31	ハーブの里、玉名高校、玉名市立図書館 . . . 66
繁根木八幡宮楼門、繁根木八幡宮大祭 32	玉名市民合唱団、玉名女子高校吹奏楽部 . . . 67
黒仏さん、六地藏 33	高瀬しぼり木綿 68
あしたも、また遊ぼうね 34	しょうぶ祭り 野点 69
温泉街の町並み、玉名温泉 35	玉名の山の幸・海の幸 70.71
高瀬船着場跡・俵ころがし 36	玉名の特産品 72.73
高瀬目鏡橋 37	カントリーエレベーター、中央集荷センター
高瀬御茶屋復元模型、高瀬藩邸跡	一寸そら豆、玉名のみかん 74
日本で最初に陸上げされた大砲 38	いちご、メロン、トマト 75
金栗四三先生 39	有明海の夕日 76
浄光寺の関白塔、僧豪潮建立宝篋印塔	あなたの一選 77
青木磨崖梵字群 40	玉名市百選一覽 78

ふるさと再発見 玉名市百選

発行 1999年9月 玉名市
〒865-8501 熊本県玉名市繁根木163
TEL 0968-75-1130（商工観光課）
*許可なく掲載、複写を禁じます。



THE BEST
HUNDRED
SELECTIONS
OF
TAMANA